

## 1.Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1	固定
Stop Bit	1	固定
Data Bit	8	固定
Parity	Odd or Even or None	可変
Data Rate	2400 ~ 38400 bit per second	可変
Code	ASCII	
Terminate	CR LF	

## 2.Write command

マルチビューワ (AMV-1600) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。  
「MENU+CR,LF」を返します。

### 2-1.Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E0+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

### 2-2.Command

#### 2-2-1.アラーム関連

##### 2-2-1-1.「ADOF+CR,LF」(Alarm Display Off)

アラーム状態時の「ALARM」という文字表示設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

##### 2-2-1-2.「ADON+CR,LF」(Alarm Display On)

アラーム状態時の「ALARM」という文字表示設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

##### 2-2-1-3.「ADTnnn+CR,LF」(Alarm Duration Time nnn)

アラーム状態の保持時間を設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

nnnは秒数で設定範囲は、【003】～【999】秒です。

##### 2-2-1-4.「AME+CR,LF」(Alarm Mode External)

アラームのモード設定を【EXT.】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

##### 2-2-1-5.「AMI+CR,LF」(Alarm Mode Internal)

アラームのモード設定を【INT.】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6. 「APB+CR,LF」 (Alarm Polarity Break)  
アラーム入力の極性設定を【BREAK】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-7. 「APM+CR,LF」 (Alarm Polarity Make)  
アラーム入力の極性設定を【MAKE】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)  
アラーム リターンの設定を【OFF】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)  
アラーム リターンの設定を【ON】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

## 2-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)  
分割画面の境界線設定を【BLACK】にします。

2-2-2-2. 「BLG+CR,LF」 (Border Line Gray)  
分割画面の境界線設定を【GRAY】にします。

2-2-2-3. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)  
分割画面の境界線設定を【WHITE】にします。

2-2-2-4. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)  
分割画面の境界線設定を【OFF】にします。

## 2-2-3.自動切換えモード

2-2-3-1. 「CASMM+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Mix)  
オートシーケンスのモード設定を【MIX】にします。

2-2-3-2. 「CASMD+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Division)  
オートシーケンスのモード設定を【DIVISION】にします。

2-2-3-3. 「CASMS+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Single)  
オートシーケンスのモード設定を【SINGLE】にします。

## 2-2-4.自動切換え時間

2-2-4-1. 「CASTMnnnn~nn+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Mix ch.01~div.16)  
オートシーケンスのミックス・スモードの画面切換え時間を一斉に設定します。  
nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】~【99】秒です。  
nnは、単画面16+分割画面9=50bytesです。  
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-2. 「CASTS01nn+CR,LF」~「CASTS16nn+CR,LF」  
(Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01~ch.16)  
単画面オートシーケンスの画面切換え時間を個別に設定します。  
nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】~【99】秒です。  
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-3. 「CASTSnnnn~nn+CR,LF」(Camera Auto Sequence Time Single screen)

単画面オートシーケンスの画面切換え時間を一斉に設定します。  
nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】~【99】秒です。  
nnは、単画面 16=32bytes です。  
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-4. 「CASTD4Ann+CR,LF」~「CASTD16nn+CR,LF」

(Camera Auto Sequence Time Division screen Div.4A~Div.16)  
分割画面オートシーケンスの画面切換え時間を個別に設定します。  
nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】~【99】秒です。  
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-5. 「CASTDnnnn~nn+CR,LF」(Camera Auto Sequence Time Division screen)

分割画面オートシーケンスの画面切換え時間を一斉に設定します。  
nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】~【99】秒です。  
nnは、分割画面 9=18bytes です。  
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1. 「CIA+CR,LF」(Connector In Alarm)

端子台入力の設定を【ALARM】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-5-2. 「CIR+CR,LF」(Connector In Remote)

端子台入力の設定を【REMOTE】にします。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1. 「CTcc\*\*\*\*\*+CR,LF」(Character Title ch.01~16 set)

ASCIIコードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。  
タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。  
ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】~【16】です。  
\*は、タイトルで詳細は、最終ページのASCII Code表を参照してください。  
対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2. 「CTNcc\*\*\*\*\*+CR,LF」(Character Title do Not memory ch.01~16 set)

ASCIIコードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。  
**書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。**  
タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。  
ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】~【16】です。  
\*は、タイトルで詳細は、最終ページのASCII Code表を参照してください。  
対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-3. 「CJcc\*\*\*\*\*. . .\*\*\*\*\*+CR,LF」(Character title JIS ch.01~16 set)

JISコードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。  
タイトルの文字長さが10文字未満の場合スペース文字(0x2121)を挿入してください。  
ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】~【16】です。  
\*\*\*\*\*は、1文字2Bytesコードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。  
例) 0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31になります。

対応文字についてはJIS 第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。

\*は、10文字×4Bytes = 40Bytes になります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

CJ コマンドで設定したタイトルは、AMV-1600 のメニューで編集できません。

#### 2-2-6-4. 「CJNcc\*\*\*\*\*. . . \*\*\*\*\*+CR,LF」

(Character title JIS do Not memory ch.01 ~ 16 set)

JIS コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。

書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

タイトルの文字長さが10文字未満の場合スペース文字(0x2121)を挿入してください。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

\*\*\*\*\*は、1文字2Bytes コードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。

例) 0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31 になります。

対応文字についてはJIS 第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。

\*は、10文字×4Bytes = 40Bytes になります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

CJN コマンドで設定したタイトルは、AMV-1600 のメニューで編集できません。

#### 2-2-6-5. 「CTDDOF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen Off)

分割画面時のタイトル表示を【OFF】に設定します。

#### 2-2-6-6. 「CTDDON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen On)

分割画面時のタイトル表示を【ON】に設定します。

#### 2-2-6-7. 「CTDSOF+CR,LF」 (Character Title Display Single screen Off)

単画面時のタイトル表示を【OFF】に設定します。

#### 2-2-6-8. 「CTDSON+CR,LF」 (Character Title Display Single screen On)

単画面時のタイトル表示を【ON】に設定します。

#### 2-2-6-9. 「CTFSDL+CR,LF」 (Character Title Font Size Division screen Large)

分割画面時のタイトルの文字サイズを【LARGE】に設定します。

#### 2-2-6-10. 「CTFSDS+CR,LF」 (Character Title Font Size Division screen Small)

分割画面時のタイトルの文字サイズを【SMALL】に設定します。

#### 2-2-6-11. 「CTFSSL+CR,LF」 (Character Title Font Size Single screen Large)

単画面時のタイトルの文字サイズを【LARGE】に設定します。

#### 2-2-6-12. 「CTFSSS+CR,LF」 (Character Title Font Size Single screen Small)

単画面時のタイトルの文字サイズを【SMALL】に設定します。

### 2-2-7. 日付,時刻設定

#### 2-2-7-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【31】日です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

#### 2-2-7-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【01】～【12】月です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】年です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-4. 「TDSyymmddhhffss+CR,LF」 (Time & Date Set 年月日時分秒)

年月日時分秒を纏めて設定します。

yyは、設定値で設定範囲は【00】～【99】年です。

mmlは、設定値で設定範囲は【01】～【12】月です。

ddは、設定値で設定範囲は【01】～【31】日です。

hhは、設定値で設定範囲は【00】～【23】時です。

ffは、設定値で設定範囲は【00】～【59】分です。

ssは、設定値で設定範囲は【00】～【59】秒です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-5. 「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjustment)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-6. 「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【23】時です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-7. 「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【59】分です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-8. 「TSSnn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位を設定します。

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【59】秒です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8. 日付,時刻表示の設定

2-2-8-1. 「TSDOF+CR,LF」 (Time Signal Display Off)

日付,時刻の表示を【OFF】に設定します。

2-2-8-2. 「TSDON+CR,LF」 (Time Signal Display On)

日付,時刻の表示を【ON】に設定します。

2-2-8-3. 「TSDRn+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1~8)

日付,時刻表示のレンジを設定します。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【8】です。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【 HMS 】 時分秒 です。  
8は【 HM 】 時分 です。

## 2-2-9.NTSC 画面アスペクト比設定

2-2-9-1. 「NAR4+CR,LF」 (NTSC Aspect Ratio 4:3)  
ビデオフォーマットがNTSCのときのアスペクト比を4:3に設定します。

2-2-9-2. 「NARF+CR,LF」 (NTSC Aspect Ratio FULL)  
ビデオフォーマットがNTSCのときのアスペクト比をFULLに設定します。

## 2-2-10.電源投入時画面設定

2-2-10-1. 「POSS01+CR,LF」 ~ 「POSS16+CR,LF」 (Power on Screen Single 01 ~ 16)  
電源投入時の表示画面を単画面に設定します。  
設定範囲は【01】 ~ 【16】です。

2-2-10-2. 「POSD4A+CR,LF」 ~ 「POSD16+CR,LF」 (Power on Screen Div.4A ~ Div.16)  
電源投入時の表示画面を分割画面に設定します。

2-2-10-3. 「POSCAS」 (Power on Screen Camera Auto Sequence)  
電源投入時の表示画面を自動切換えに設定します。

## 2-2-11.ビデオ調整

2-2-11-1. 「VABccnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness ch.01 ~ 16 nnn)  
ビデオ調整のブライトネスを各チャンネル個別に設定します。  
ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】 ~ 【16】です。  
nnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】 (000~063,-64~-1)です。

2-2-11-2. 「VABnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness)  
ビデオ調整のブライトネスを全チャンネルまとめて設定します。  
nnnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】 (000~063,-64~-1)です。  
nは、16チャンネル分×3Bytes = 48Bytesになります。

2-2-11-3. 「VABAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness ch.01 ~ 16 All nnn)  
ビデオ調整のブライトネスを全チャンネル同一設定します。  
nnnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】 (000~063,-64~-1)です。

2-2-11-4. 「VACccnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast ch.01 ~ 16 nnn)  
ビデオ調整のコントラストを各チャンネル個別に設定します。  
ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】 ~ 【16】です。  
nnnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】です。

2-2-11-5. 「VACnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast)  
ビデオ調整のコントラストを全チャンネルまとめて設定します。  
nnnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】です。  
nは、16チャンネル分×3Bytes = 48Bytesになります。

2-2-11-6. 「VACAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast ch.01 ~ 16 All nnn)  
ビデオ調整のコントラストを全チャンネル同一設定します。  
nnnnは、設定値で設定範囲は【000】 ~ 【127】です。

- 2-2-11-7. 「VAHccnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01 ~ 16 nnn)  
 ビデオ調整のヒューを各チャンネル個別に設定します。  
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】、【132】～【255】  
 (000～127,-124～-1)です。
- 2-2-11-8. 「VAHnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue)  
 ビデオ調整のヒューを全チャンネルまとめて設定します。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】、【132】～【255】  
 (000～127,-124～-1)です。nは、16チャンネル分×3Bytes = 48Bytesになります。
- 2-2-11-9. 「VAHANnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01 ~ 16 All nnn)  
 ビデオ調整のヒューを全チャンネル同一設定します。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】、【132】～【255】  
 (000～127,-124～-1)です。
- 2-2-11-10. 「VASHccnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01 ~ 16 nn)  
 ビデオ調整のシャープネスを各チャンネル個別に設定します。  
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。
- 2-2-11-11. 「VASHnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness)  
 ビデオ調整のシャープネスを全チャンネルまとめて設定します。  
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。
- 2-2-11-12. 「VASHANnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01 ~ 16 All nn)  
 ビデオ調整のシャープネスを全チャンネル同一設定します。  
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。  
 nは、16チャンネル分×2Bytes = 32Bytesになります。
- 2-2-11-13. 「VASAccnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01 ~ 16 nnn)  
 ビデオ調整のサチュレーションを各チャンネル個別に設定します。  
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
- 2-2-11-14. 「VASAnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation)  
 ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネルまとめて設定します。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。  
 nは、16チャンネル分×3Bytes = 48Bytesになります。
- 2-2-11-15. 「VASAAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01 ~ 16 All nnn)  
 ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネル同一設定します。  
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
- 2-2-12. ビデオ・ロス
- 2-2-12-1. 「VL01OF+CR,LF」～「VL16OF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01 ~ 16 Off)  
 ビデオ ロスの検出設定を【OFF】にします。
- 2-2-12-2. 「VL01ON+CR,LF」～「VL16ON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01 ~ 16 On)  
 ビデオ ロスの検出設定を【ON】にします。

2-2-12-3. 「V L O O O O O O O O O O O O O O O O O O +CR,LF」 (Video Loss detect ch.01 ~ 16)  
ビデオ ロスの検出設定を一斉にします。  
oは、「F」が【OFF】、「N」が【ON】です。

2-2-12-4. 「V L A O F +CR,LF」 (Video Loss detect ch.01 ~ 16 All Off)  
ビデオ ロスの検出を全チャンネル【OFF】に同一設定します。

2-2-12-5. 「V L A O N +CR,LF」 (Video Loss detect ch.01 ~ 16 All On)  
ビデオ ロスの検出を全チャンネル【ON】に同一設定します。

2-2-12-6. 「V L B C B +CR,LF」 (Video Loss Background Color Blue)  
ビデオ ロス時の背景色設定を【BLUE】にします。

2-2-12-7. 「V L B C N +CR,LF」 (Video Loss Background Color Normal)  
ビデオ ロス時の背景色設定を【NORMAL】BLACKにします。

2-2-12-8. 「V L D O F +CR,LF」 (Video Loss Display Off)  
ビデオ ロスの表示設定を【OFF】にします。

2-2-12-9. 「V L D O N +CR,LF」 (Video Loss Display On)  
ビデオ ロスの表示設定を【ON】にします。

2-2-12-10. 「V L S O O F +CR,LF」 (Video Loss Signal Output Off)  
ビデオ ロスの信号出力設定を【OFF】にします。

2-2-12-11. 「V L S O O N +CR,LF」 (Video Loss Signal Output On)  
ビデオ ロスの信号出力表示設定を【ON】にします。

## 2-2-13.カメラチャンネル(画面)選択

2-2-13-1 「C S 0 1 +CR,LF」 ~ 「C S 1 6 +CR,LF」 (Change Single.01 ~ )  
単画面のチャンネルNo.01 ~ 16 を選択します。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。  
但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除を  
しません。  
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-2. 「C D 4 A +CR,LF」 ~ 「C D 4 D +CR,LF」 (Change Division 4A ~ 4D)  
4分割画面A~D を選択します。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。  
但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除を  
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-3. 「C D 9 A +CR,LF」 ~ 「C D 9 B +CR,LF」 (Change Division 9A ~ 9B)  
9分割画面A~B を選択します。  
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。  
但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除を  
しません。  
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-4. 「C D 1 3 A+CR,LF」～「C D 1 3 B+CR,LF」(Change Division 13A～13B)

13 分割画面 A～B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-5. 「C D 1 6+CR,LF」(Change Division 16)

16 分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-13-6. 「C C A S+CR,LF」(Change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスの画面切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-14. カメラチャンネル(画面)選択(旧コマンド)

2-2-14-1. 「C 0 1+CR,LF」～「C 1 6+CR,LF」(Change single.ch.01～16)

単画面のチャンネル No.01～16 を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-2. 「C A S+CR,LF」(change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスの画面切り換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-3. 「C 4 A+CR,LF」～「C 4 D+CR,LF」(Change division 4A～4D)

4 分割画面 A～D を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-4. 「C 9 A+CR,LF」～「C 9 B+CR,LF」(Change division 9A～9B)

9 分割画面 A～B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-14-5. 「C 1 3 A+CR,LF」～「C 1 3 B+CR,LF」(Change division 13A～13B)

13 分割画面 A～B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

#### 2-2-14-6. 「C 1 6+CR,LF」 (Change division 16)

16 分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けるとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

#### 2-2-15.映像フォーマット

##### 2-2-15-1. 「VFAn+CR,LF」 (Video Format All ch.01~16n)

ビデオ フォーマットを全チャンネル同一設定します。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD - TVI 1080p】です。

4は【HD - TVI 720p】です。

5は【HD - CVI 1080p】です。

6は【HD - CVI 720p】です。

7は【NTSC】です。

##### 2-2-15-2. 「VFccn+CR,LF」 (Video Format ch.01~16n)

ビデオ フォーマットを各チャンネル個別に設定します。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD - TVI 1080p】です。

4は【HD - TVI 720p】です。

5は【HD - CVI 1080p】です。

6は【HD - CVI 720p】です。

7は【NTSC】です。

##### 2-2-15-3. 「VFnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Format ch.01~16)

ビデオ フォーマットを全チャンネルまとめて設定します。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD - TVI 1080p】です。

4は【HD - TVI 720p】です。

5は【HD - CVI 1080p】です。

6は【HD - CVI 720p】です。

7は【NTSC】です。

#### 2-2-16.画面配置 (分割画面)

##### 2-2-16-1. 「SPD4Acccccccc+CR,LF」～「SPD4Dcccccccc+CR,LF」

(Screen Placement Division 4A~4D)

4分割A~D画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。

ccはチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

cは、4画面分×2Bytes=8Bytesになります。

2-2-16-2. 「SPD4ANcccccccc+CR,LF」～「SPD4DNcccccccc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 4A~4D do Not memory)  
4分割A~D画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。  
書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。  
ccはチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
cは、4画面分×2Bytes=8Bytesになります。

2-2-16-3. 「SPD4Annc+CR,LF」～「SPD4Dnncc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 4A~4D No.nn)  
4分割A~D画面に任意のチャンネルを個別に配置します。  
nnは配置番号で設定範囲は【01】～【04】です。  
ccはチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-4. 「SPD4ANnncc+CR,LF」～「SPD4DNnncc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 4A~4D Not memory No.nn)  
4分割A~D画面に任意のチャンネルを個別に配置します。  
書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。  
nnは配置番号で設定範囲は【01】～【04】です。  
ccはチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-5. 「SPD9Acccc...cc+CR,LF」～「SPD9Bcccc...cc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 9A~9B)  
9分割A~B画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。  
ccはチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
cは、9画面分×2Bytes=18Bytesになります。

2-2-16-6. 「SPD9ANcccc...cc+CR,LF」～「SPD9BNcccc...cc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 9A~9B do Not memory)  
9分割A~B画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。  
書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。  
ccはチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
cは、9画面分×2Bytes=18Bytesになります。

2-2-16-7. 「SPD9Annc+CR,LF」～「SPD9Bnncc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 9A~9B No.nn)  
9分割A~B画面に任意のチャンネルを個別に配置します。  
nnは配置番号で設定範囲は【01】～【09】です。  
ccはチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-8. 「SPD9ANnncc+CR,LF」～「SPD9BNnncc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 9A~9B Not memory No.nn)  
9分割A~B画面に任意のチャンネルを個別に配置します。  
書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。  
nnは配置番号で設定範囲は【01】～【09】です。  
ccはチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-9. 「SPD13Acccc...cc+CR,LF」～「SPD13Bcccc...cc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 13A~13B)  
13分割A~B画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。  
ccはチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。  
cは、13画面分×2Bytes=26Bytesになります。

2-2-16-10. 「SPD13ANcccc...cc+CR,LF」～「SPD13BNcccc...cc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 13A~13B do Not memory)

13 分割 A~B 画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。

書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

cc はチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

c は、13 画面分×2Bytes = 26Bytes になります。

2-2-16-11. 「SPD13Annc+CR,LF」～「SPD13Bnnc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 13A~13B No.nn)

13 分割 A~B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。

nn は配置番号で設定範囲は【01】～【13】です。

cc はチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-12. 「SPD13Annnc+CR,LF」～「SPD13BNnnc+CR,LF」  
(Screen Placement Division 13A~13B Not memory No.nn)

13 分割 A~B 画面に任意のチャンネルを個別に配置します。

書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

nn は配置番号で設定範囲は【01】～【13】です。

cc はチャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-16-13. 「SPD16cccc...cc+CR,LF」(Screen Placement Division 16)

16 分割画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。

cc はチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

c は、16 画面分×2Bytes = 32Bytes になります。

2-2-16-14. 「SPD16Ncccc...cc+CR,LF」(Screen Placement Division 16 do Not memory)

16 分割画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。

書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

cc はチャンネル番号で設定範囲は【01】～【16】です。

c は、16 画面分×2Bytes = 32Bytes になります。

## 2-2-17.OSD 表示位置微調整

2-2-17-1. 「OOH00+CR,LF」～「OOH15+CR,LF」(OSD Offset Horizontal 00~15)

OSD 表示の水平方向の微調整をします。

2-2-17-2. 「OOV00+CR,LF」～「OOV15+CR,LF」(OSD Offset Vertical 00~15)

OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

## 2-2-18.ボタン ロック設定

2-2-18-1. 「LOF+CR,LF」(Lock Off)

ボタン・ロックを解除します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-18-2. 「LON+CR,LF」(Lock On)

ボタン・ロックを設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。



### 3-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

#### 3-2-2-1. 「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

分割画面の境界線の設定を返します。

「BLB+CR,LF」 黒色

「BLG+CR,LF」 灰色

「BLW+CR,LF」 白色

### 3-2-3.自動切換えモード

#### 3-2-3-1. 「RCASM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Mode)

自動切換えモードの設定を返します。

「CASMS+CR,LF」 単画面

「CASMD+CR,LF」 分割画面

「CASMM+CR,LF」 ミックス

### 3-2-4.自動切換え時間

#### 3-2-4-1. 「RCASTM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)

ミックスモードの自動切換え時間設定を連続で返します。

nnは、単画面16+分割画面9=50bytesです。

「CASTMnnnn~nn+CR,LF」

#### 3-2-4-2. 「RCASTS+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single)

単画面モードの自動切換え時間設定を連続で返します。

nnは、単画面16=32bytesです。

「CASTSnnnn~nn+CR,LF」

#### 3-2-4-3. 「RCASTS01+CR,LF」 ~ 「RCASTS16+CR,LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01 ~ ch.16)

単画面の自動切換え時間設定を個別に返します。

「CASTS0101+CR,LF」 ~ 「CASTS1699+CR,LF」

#### 3-2-4-4. 「RCASTD+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division)

分割画面の自動切換え時間設定を連続で返します。

nnは、分割画面数9=18bytesです。

「CASTDnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

#### 3-2-4-5. 「RCASTD4A+CR,LF」 ~ 「RCASTD16+CR,LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Division 4A ~ Division 16)

分割画面の自動切換え時間設定を個別に返します。

「CASTD4A01+CR,LF」 ~ 「CASTD1699+CR,LF」

### 3-2-5.コネクタ入力

#### 3-2-5-1. 「RCI+CR,LF」 (Read Connector In)

端子台入力の設定を返します。

「CIA+CR,LF」 アラーム

「CIR+CR,LF」 リモート

### 3-2-6.タイトル関連

#### 3-2-6-1.「RCTcc+CR,LF」(Read Character Title ch.01~16)

ASCIIコードのタイトル設定10文字を各チャンネル個別に返します。

「CTcc\*\*\*\*\*+CR,LF」

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】~【16】です。

\*は、タイトルで詳細は、最終ページのASCII Code表を参照してください。

CJコマンドでタイトルを設定した場合、RCTコマンドでReadすると誤ったDataを返します。

#### 3-2-6-2.「RCJcc+CR,LF」(Read Character title JIS ch.01~16)

JISコードのタイトル設定10文字を各チャンネル個別に返します。

「CJcc\*\*\*\*\*. . . \*\*\*\*\*+CR,LF」~

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】~【16】です。

\*\*\*\*\*は、1文字2Bytesコードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。

例) 0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31になります。

\*は、10文字×4Bytes=40Bytesになります。

#### 3-2-6-3.「RCTDD+CR,LF」(Read Character Title Display Division screen)

分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDOF+CR,LF」 【OFF】

「CTDON+CR,LF」 【ON】

#### 3-2-6-4.「RCTDS+CR,LF」(Read Character Title Display Single screen)

単画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTSOFF+CR,LF」 【OFF】

「CTSON+CR,LF」 【ON】

#### 3-2-6-5.「CTFSD+CR,LF」(Read Character Title Font Size Division screen)

分割画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。

「CTFSDS+CR,LF」 【SMALL】

「CTFSDL+CR,LF」 【LARGE】

#### 3-2-6-6.「CTFSS+CR,LF」(Read Character Title Font Size Single screen)

単画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。

「CTFSSS+CR,LF」 【SMALL】

「CTFSSL+CR,LF」 【LARGE】

### 3-2-7.日付,時刻

#### 3-2-7-1.「RTD+CR,LF」(Read Time & Date)

AMV-800の日付&時刻を返します。

「yyyy.mm.dd hh:MM:ss+CR,LF」

yyyy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

### 3-2-8.日付,時刻の表示

#### 3-2-8-1.「RTSD+CR,LF」(Read Time Signal Display)

時刻表示の設定を返します。

「TSDOFF+CR,LF」 OFF

「TSDON+CR,LF」 ON





3-2-12-3. 「RVLBC+CR,LF」 (Read Video Loss Background Color)  
ビデオ・ロスの表示設定を返します。  
「VLBCB+CR,LF」 BLUE  
「VLBCN+CR,LF」 NORMAL (BLACK)

3-2-12-4. 「RVL D+CR,LF」 (Read Video Loss Display)  
ビデオ・ロスの表示設定を返します。  
「VLDOF+CR,LF」 OFF  
「VLDON+CR,LF」 ON

3-2-12-5. 「RVL SO+CR,LF」 (Read Video Loss Signal Output)  
ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。  
「VLSOOF+CR,LF」 OFF  
「VLSOON+CR,LF」 ON

### 3-2-13.現在のモード

3-2-13-1. 「RM+CR,LF」 (Read Mode)  
AMV-1600の現在の状態を返します。  
「A01+CR,LF」～「A16+CR,LF」 Alarm 保持中 ch.  
「S01+CR,LF」～「S16+CR,LF」 単画面  
「D4A+CR,LF」～「D16+CR,LF」 分割画面  
「CAS+CR,LF」 自動切換え中  
「MENU+CR,LF」 Menu 表示中  
「NORMAL+CR,LF」 Menu 中でも Alarm 中でもない状態

### 3-2-14.画面配置 (分割画面)

3-2-14-1. 「RSPD4A+CR,LF」～「RSPD4D+CR,LF」  
(Read Screen Placement Division 4A~4D)  
4分割画面A~Dのチャンネル配置設定をまとめて返します。  
「SPD4A c c c c c c c c+CR,LF」～「SPD4D c c c c c c c c+CR,LF」  
c cはチャンネル番号【01】～【16】です。  
cは、4チャンネル分×2Bytes=8Bytesになります。

3-2-14-2. 「RSPD4Ann+CR,LF」～「RSPD4Dnn+CR,LF」  
(Read Screen Placement Division 4A~4D No.nn)  
4分割画面Aのチャンネル配置設定を個別に返します。  
nnは配置番号で設定範囲は【01】～【04】です。  
「SPD4Ann c c+CR,LF」～「SPD4Dnn c c+CR,LF」  
c cはチャンネル番号【01】～【16】です。

3-2-14-3. 「RSPD9A+CR,LF」～「RSPD9B+CR,LF」  
(Read Screen Placement Division 9A~9B)  
9分割画面A~Bのチャンネル配置設定をまとめて返します。  
「SPD9A c c . . . c c c c+CR,LF」～「SPD9B c c . . . c c c c+CR,LF」  
c cはチャンネル番号【01】～【16】です。  
cは、9チャンネル分×2Bytes=18Bytesになります。





#### 4. ご注意

Command の発行と同時に AMV-1600 のフロントスイッチを操作されると誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 200mSeconds. 以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

CT や CJ のタイトル設定のコマンド発行を連続で行う場合 600mSeconds. 以上の間隔をあけて下さい。

CJ コマンドで設定したタイトルは、AMV-1600 のメニューで編集できません。

CJ コマンドで設定したタイトルを RCT コマンドで Read すると誤った Data を返します。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字です。

0x222f ~ 0x2239, 0x2242 ~ 0x2249, 0x2251 ~ 0x225b, 0x226b ~ 0x2271, 0x227a ~ 0x227d,  
0x2321 ~ 0x232f, 0x233a ~ 0x2340, 0x235b ~ 0x2360, 0x237b ~ 0x237e, 0x2474 ~ 0x247e,  
0x2577 ~ 0x257e, 0x2639 ~ 0x2640, 0x2659 ~ 0x267e, 0x2742 ~ 0x2750, 0x2773 ~ 0x277e,  
0x2841 ~ 0x2c7e, 0x2d3f, 0x2d57 ~ 0x2d5e, 0x2d70 ~ 0x2d72, 0x2d74 ~ 0x2d77,  
0x2d7a ~ 0x2f7e, 0x4f54 ~ 0x4f7e のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427 ~ 0x7e7e のコードは除きます。

拡張文字は、0x7921 ~ 0x7c6e の漢字 360 文字 , 0x7c71 ~ 0x7c7a, 0x7c7d, 0x7c7e の記号 12 文字。

合計 7,324 文字です。

5.变更履歷  
2021.04.13

初版

ASCII Code 表 (16 進)

SPACE	20H	a	61H	タ	C0H
:	3AH	b	62H	チ	C1H
)	28H	c	63H	ツ	C2H
(	29H	d	64H	テ	C3H
-	2DH	e	65H	ト	C4H
.	2EH	f	66H		
/	2FH	g	67H	ナ	C5H
0	30H	h	68H	ニ	C6H
1	31H	i	69H	ヌ	C7H
2	32H	j	6AH	ネ	C8H
3	33H	k	6BH	ノ	C9H
4	34H	l	6CH		
5	35H	m	6DH	ハ	CAH
6	36H	n	6EH	ヒ	CBH
7	37H	o	6FH	フ	CCH
8	38H	p	70H	ヘ	CDH
9	39H	q	71H	ホ	CEH
		r	72H		
A	41H	s	73H	マ	CFH
B	42H	t	74H	ミ	D0H
C	43H	u	75H	ム	D1H
D	44H	v	76H	メ	D2H
E	45H	w	77H	モ	D3H
F	46H	x	78H		
G	47H	y	79H	ヤ	D4H
H	48H	z	7AH	イ	A8H
I	49H	アイ	B1H	ユ	D5H
J	4AH	イ	B2H	エ	AAH
K	4BH	ウ	B3H	ヨ	D6H
L	4CH	エ	B4H		
M	4DH	オ	B5H	ラ	D7H
N	4EH	カ	B6H	リ	D8H
O	4FH	キ	B7H	ル	D9H
P	50H	ク	B8H	レ	DAH
Q	51H	ケ	B9H	ロ	DBH
R	52H	コ	BAH		
S	53H			ワ	DCH
T	54H	サ	BBH	ン	DDH
U	55H	シ	BCH	ツ	AFH
V	56H	ス	BDH	ャ	ACH
W	57H	セ	BEH	ュ	ADH
X	58H	ソ	BFH	ョ	AEH
Y	59H			ア	A7H
Z	5AH			ォ	ABH
				ゝ	DEH
				。	DFH